

しんぐうライフ



新宮東中学校総合学習 災害時の段ボールベッド制作に励む中学生

秋～冬号

2024. 10 VOL.10

特集 新宮町の防災は今……

- P2 新宮歴史ロマン、新宮聞き語り
- P3～7 特集 新宮町の防災は今……
- P8 祝・敬老の日
- P9 福祉のアンテナSHOP
- P10～11 TNR活動、わが家の一員紹介、他
- P12 季節写真と俳句、川柳、編集後記



俳句『夏海の 歴史見守る めがね岩』和久 写真 相島めがね岩と朝鮮通信使復元船

いち庵の山柳

コロナとて 夫婦仲良く 築籠り中

第5類になったとはいえ、夫婦でコロナに感染し、外出を自粛しております。家の中で二人きり、相手を思いやりながら過ごす時間は幸せです。 一庵

編集後記

- ◆めがね岩君へのオマージュ
朝鮮通信使は延べにして12回来訪されていますが、相島の衛兵である、めがね岩君はそのすべてを導きとして迎えられた事でしょう。それ故に、今回の260年振りの寄港については感慨もひとしおであったに違いありません。めがね岩君いつまでもお元気で、これからもあなたの歴史を刻んでください。
【緑ヶ浜・真鍋】
- ◆地震の被災地に豪雨あり。それでも生きていかねばと、何を希望にも夫婦
【新宮区・河野】
- ◆先の台風10号では町内でも高齢者ら36人が自主避難したそうです。巨大地震注意報も出る災害大国の日本には『防災省』設置が急務ですね
【よつば区・馬部】
- ◆暑い中、取材頑張ったメンバーの熱い想いが詰まっています。
【立花口 濱田】
- ◆意外に知られていない、ふれあい交流館。皆でフル活用しましょう！
【夜臼・伊藤】
- ◆今号編集時の9月に大型台風が日本を横断しました。町地域協働課と社協の皆さんの有事の安心安全への手配に感謝申し上げます。
【原上・藤岡】
- ◆物価高の対策で節電・節水・フードロス、不要な物はリサイクル、菜は勿論ジェネリック、楽しく節約しています。
【原上・井浦】

この情報誌は、赤い羽根共同募金配分金の一部で制作されています。

2024年10月 秋～冬 第10号 発行 しんぐうライフ編集部
福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜4-3-1 社会福祉協議会内 ☎092-963-0921(代表)



TNR活動をご存知でしょうか？

不幸な命と猫の数を今以上に増やさない!!

猫愛に溢れた素敵な方々が新宮町の環境の為、猫ちゃんたちの不幸な命を増やさないように、TNR(不妊去勢手術)地域猫活動推進、殺処分ゼロ、里親探し(毎月花立花公民館にて譲渡会開催)ボランティア活動されています。

TNRとは

T→Trap(安全な捕獲)

N→Neuter(不妊手術)

R→Return(元の場所へ)



やっと安心して眠れるにゃあ。

猫の繁殖を抑え頭数を減らす、避妊去勢手術し元の場所へ戻す活動です。

猫は1度に平均3~6匹 年に1~2回出産をします。一匹のメスから1年で約80匹にも増えると考えられます。

手術後はオスの右耳にカット、メスの左耳にカット、桜の花びらのように見えるため「桜猫」とも呼ばれています

現在は新宮町役場の環境課よりどうぶつ基金に登録して頂いてる為、申請すれば全国の協力病院で使用できる「無料不妊手術チケット」を使用できます。これは運営側にとって、たいへん助かるということです。

令和6年5月25日に新宮町立花区にある、花立花公民館にて開催された譲渡会取材させて頂きました。

数名のボランティアスタッフさんが来訪される人々に笑顔でお出迎えされていました。

来訪者はまず、受付けて簡単なアンケートを記入します。

それからは、可愛い猫ちゃんたちと抱っこしたり、遊んだり、気になった猫ちゃんがいればスタッフへお声をかけてトライアル(預かりお試し期間)に進みます。

この日は仔猫ちゃんが多くあつという間に全子猫トライアル決定となりました。

来場の皆さんに感想を聞くと「癒されます」「可愛い」とのこと。

事例が豊富なので初めて参加のご家族も、安心して保護猫を家族に迎えています。

会の代表の市川さんにお話を聞きました。(記者 井浦)



新宮猫の会 代表 市川史保さん

外をさまよう猫がいなくなる日までTNR活動します!!
 さくら猫もどんどん増えて「ゴミを漁られなくなった」
 「喧嘩の声がなくなった」「子猫を見なくなった」
 「無惨に亡くなっている猫も見なくなった」と、猫を守りたい方も、猫に迷惑している方も、気持ちは同じ…
 猫が今以上に増えないこと!!なんです。

手術や検査やワクチン、治療費などの他に、譲渡会開催費、フードトイレなどの消耗品など、ほとんどが自己負担です。皆様の温かい寄付に支えられています。

福岡銀行 新宮支店(304) 普通 815078 シングウネコノカイ イチカワリホ
 PayPay ID shingunekonokai 連絡先・お問い合わせ 090-9497-6807



特集 新宮町の防災は今...

今後も懸念される災害への備えを取材しました

本年9月、ちようど取材をしてる時に、大型台風が九州を直撃する情報が流れ、町に緊張感が漂いました。災害時のちようとした準備や行動の違いが被災に繋がります。特に「自助(自分自身を守る)と共助(周りの人達と助け合う)」が大切です。阪神淡路大震災では助かった人の約8割がご自身や家族・地域の人からの救助によるものでした。

また、家具類を固定することにより、怪我や下敷きになる危険性を減らすことができます。水害や地震などいつ起こるかわかりませんが、各自備えておくことで被害を少なくすることはできます。今回の特集が皆さんの防災意識の向上に繋がりますように。そして自分や大切な方を守っていただきたいと思えます。

【防災用品について】

防災用品は、様々な災害を想定すると、必要と思われるものが際限なく増えてしまうので、誰がどういふ目的で備えるかによって、品揃えは違ってきます。家族構成や地域特性によって、また季節によっても必要な防災用品は違います。

自分に何が必要かを考えて備えることが大切です。使い慣れたものを揃える、あるいは普段から使うように心がけるのもポイントです。

高齢者の非常時持出品 事例

【肩掛けポシェットの中身】

- 現金 マイナンバーカード 保険証
- メガネ 携帯電話 家族連絡先メモ
- お薬 お薬手帳 ハンカチ、ティッシュ
- ビニール袋 飴玉など

【軽いリュックの中身】

- 替えの下着 紙オムツ 靴下、防寒着
- 櫛、歯ブラシ、入歯、綿棒、他衛生用品
- 思い出の品 など

【家族の防災生活用品】

- 飲料水(1人1日3リットル) 毛布、寝袋
- タオル類 缶詰、レトルト食品
- 卓上コンロ トイレットペーパー
- 簡易トイレ ゴミ袋、ポリ容器、バケツ
- 充電器 ブルーシート など

マイ・タイムラインを作ってみよう

マイ・タイムライン(台風・大雨時)とは?

台風や大雨が接近しているとき、余裕をもって安全に避難をするために、自分自身がとる防災行動を時系列で整理し、とりまとめる行動計画です。

町などから発表される防災・避難情報をもとに、いつ・どのタイミングで、どのような防災行動をとるのかを考え、自分の家族や生活環境に合わせたマイ・タイムラインを作成しましょう。

※マイ・タイムラインの用紙は令和4年のアクティブ新宮9月号に併せて全戸配布しています。町ホームページでもダウンロードできます。



一出典:
 Active新宮
 (町広報誌)
 令和5年7月
 No. 637
 3, 4ページ

次のページを参考に、実際にマイ・タイムラインを作ってみましょう



新宮東中学校ビッグルーフ

新宮東中学校は2019年の新設開校時から、町の防災拠点校に位置づけられています。防災教育に特に力を入れ、一年生は入学早々から総合学習の時間に「減災のてびき」を作成。フィードバックをして防災マップ作りや「わが家の防災計画」づくり、段ボールベッド組立など様々な活動に取り組み、地域の防災リーダーになる人材育成を目標としています。

担当の元永暁子教諭によると、生徒たちはまず、東日本大震災などの過去の災害に学んだり、防災マップの作り方や緊急時のための備蓄品、家族防災会議の開催



減災の手引き



完成した段ボールベッド

催など8つのテーマごとに「減災のてびき」をつくっていく。2学期になると防災ウィークを設けて、「てびき」を元に校内の危険箇所を歩いて撮影したりして、防災マップを完成させる。フィードバックでは自治会を訪ねて区長さんに話を聞くことも。さらに、ポリ袋炊飯で実際に非常食を作ったり、段ボールベッドを組立てたりします。「子どもたちは自分ごととして考えるようになり、見違えるほど防災に詳しくなりました」と元永教諭。

町学校教育課によると、同校では体育館と校舎の間には「ピツグルーフ」と呼ばれる300㎡の屋根付き広場を設置。避難所となった場合の炊き出しや物資保管などに使用できるスペースとなるそうです。そんなハイド面での整備とともに、修学旅行では神戸市の防災センターを見

学しています。体育会でも、バケツリレーや毛布運びなど防災関連の競技を取り入れています。年一回の「お弁当の日」にはローリングストックしていた食材を使った弁当を作るなど、防災教育が日常的に根付いています。ローリングストックとは、備蓄した食品を期限がきたら食べ、また買い足すという行為を繰り返して、常に新しい非常食を備蓄する方法です。

(取材 真鍋・馬郡)



新宮東中学校 【地域の防災リーダーに】 防災拠点校の取り組み



原上老人クラブ 古田善治会長

余興の合間に参加者の方にインタビュが行われました。「原上に住まれている方から集めたもので、必ず歌っていたものではないです。昔からの伝統で、今はなき古き木造公民館の頃から集会の終わりにアカペラで『原上少年団歌』を披露してくれました。昔からの伝統で、今はなき古き木造公民館の頃から集会の終わりに必ず歌っていたもので、

令和6年9月14日、原上公民館にて、原上区敬老祝賀昼食会が開催されました。

井上伸哉区長の開会挨拶では、「コロナ禍を経て5年ぶりに敬老会を再開できました。苦勞を乗り越え、社会貢献をされてこられた皆様の健康長寿を願い、お祝いをさせていただきます」とのことでした。

乾杯の音頭は、原上老人クラブの古田善治会長がとられました。古田会長は、原上区で、「十日会」という月いちのラジオ体操会を催されたり、老人クラブのバスハイクを企画されたり精神的に会を牽引してくる頼もしいリーダーです。別の一面ではギターも演奏され、今回の余興として、お仲間と結成されているバンド「シニアブレイ

カーズ」にて、名曲『上を向いて歩こう』やホークス応援歌等を演奏してくれました。

お祝いの昼食を頂きながら、皆さん余興を楽しんでおられました。育成会のお子さんたちが立花小学校校歌と『まあるいのち』を歌ってくれました。皆さん、お孫さんたちの出演に喜ばれ、会場は和やかな雰囲気になりました。



シニアブレイカーズ演奏



原上育成会による歌の披露

いいなあと思ったことはありませんか？

「空気が良いところですよ。私は長らく炭鉱に勤めていたんですけど、原上は空気が良い、素晴らしい環境ですよ。」

「農業をしています。先輩の絆が強く助かっています。子どもが学校に行くのに環境が良かったです。」

「老人会に入ってから良かったです。家からすぐ立花山に登れるのが良いです。もう両手で数えきれないくらい登っています。」

質問「原上で生活してきて変わったなと思うところはありますか？」

「昔は、ひごもりなど伝統行事がありました。少しづつ無くなってきたように感じます。」

「子どもの頃は玄関など開けっ放しだったのに、今は縁側も戸まで閉めてしまっているのが寂しい。開けていけば良い風も入ってきていたのに...」

「コロナでいろいろんことが途切れてしまった。」

質問「今後、原上に期待することはありますか？」

「考えたことないね。」(会場笑)

「今までどおりで良い。」

「年寄りが多くなるので、皆で集まって仲良くできたらいいな。」

「皆、家族のように和やかに暮らせたらいいですね。」等、皆さん原上大好きな様子でした。

宴もたけなわ、カラオケタイムには歌自慢の皆さんがそれぞれ十八番を披露され盛り上がりてきました。最後には、自然に音楽に合わせ会場いっぱい輪を描き、全員で『炭坑節』を踊り回りました。その場に居た誰もが、原上区民の一致団結力を感しました。

始終和やかな敬老祝賀会のお楽しみ、ビンゴゲームの特賞は、テーブルを飾る美しい生花のアレンジメントでした。

時間があっという間に過ぎてしまい予定時刻になり、公民館主事の井浦政義さんの挨拶で、閉会となりました。

最後に弊誌カメラマンが集合記念写真を撮り、たいへん喜んで頂けました。来年も開催が楽しみです。

(取材 真鍋・藤岡)

新宮町防災情報ダイヤル 0800-200-8123

大雨などの災害時に情報をどう受け取るのか。町では防災行政無線で避難情報などを流すことにしています。ただ、無線が聞こえないケースもあるので、無料の電話応答サービス(0800-200-8123)の活用を呼びかけています。携帯電話を介して行うプッシュ型の緊急速報メール(エリアメール)もあります。また、事前に専用のホームページやQRコードか

ら登録できるメールサービスがあります。県が提供する防災メールのほか、テレビ、インターネットなどの防災情報へのアクセスを呼びかけています。防災情報を入手する方法も、ハザードマップの最終ページに掲載されています。

老臣 内田玄恕の一人芝居が立花山城を守る。

天正14年(1586年)8月九州を制覇しようとする島津軍五万の軍勢の旗指物で立花山は取り囲まれた。前月27日には宗茂の実父である高橋紹運は太宰府の岩屋城で壮烈な討ち死にをしている。

立花山城に降伏勧告の使者が来たが、宗茂は開城の要求をねづけた。

「こしやくな若造め。ただちに総攻撃じゃ」島津忠長は叫ぶ。一方、立花山城では重臣が「開城か」「籠城か」評定が延々と続く。

内田玄恕が「わたしが敵陣に入り、時間を稼ぎます。城では降伏の準備に時間がかかっている」と偽いつわりの話をして、時間を稼ぎます」と申し出た。

もし、露見すれば斬られる。

「すまぬ、玄恕」宗茂は、道雪公以来の老臣の忠義に熱いものが込み上げてきた。玄恕は開城やむなしの宗茂の手紙を懐に入れ、島津軍陣地へ行き、捕れの身となる。

日、一日と時が過ぎてゆく。

やがて、人質の玄恕にも立花城下に秀吉軍が到着したとの報がある。

翌朝玄恕は水をかぶり、身を

清めて白装束を着ると、島津忠長の本陣に出た。

「まことに申し訳ござらぬ。上方勢の到着まで、時を稼ぐためでござった。昨夜、城よりの知らせで関白の援軍が到着したとのこと。さあ潔く私をお手討ちください。神妙に手をつけて深く頭を下げる。」

「おのれ、時間稼ぎとは姑息な手を使いおって、生きては返さんぞ」憤怒の形相で周りの武將たちが詰め寄る。

「待て、待て。たった一人で乗り込んできたおぬしの太っ腹、おそれいった。俺たちの負けじゃ早く城へ戻られるがよからう」

身を捨てた玄恕の一人芝居と知った忠長は、怒りを通り越して苦笑さえ浮かべている。

「おはんにも騙されたが、おいらははこの城でも、紹運殿の亡霊に怯えておいもした」島津軍は包囲を解いて撤退する。

翌天正15年(1587年)

宗茂は、秀吉に「その忠義と武勇は鎮西(九州)一」と称賛され恩賞として柳川13万石を与えられた。

宗茂と関千代と忠臣たちを、大河ドラマに誘致したいものだ。

(河野 好宏)

わが家の一員紹介します

のんちゃん

2歳ポストンテリア女の子です遊ぶの大好き。



モナカちゃん

赤ちゃんの時から体が大きかったのでジャンボモナカから名付けました。サツマイモ大好きでスクスク成長中。



ジップちゃん

2歳オス新宮東在住です。人懐こいので誘拐されないか心配。



クイズここはどこでしょう?

ヒント

- ①ここから立花山が綺麗に見えます。
- ②広いグラウンドに隣接しています。
- ③誰でも気軽に使えるエントランスホールや交流室があり、時間あたり440円から借りれる会議室等もあります。
- ④災害時には、避難所として開設されることがあります。
- ⑤新しい施設なので、まだ利用者が少なく、借りるのにチャンスです!



施設全体をドローンで撮影 写真提供 新宮町役場

答えは、新宮町大字三代1095番地 新宮ふれあいの丘公園内にある【ふれあい交流館】です。開館は、火曜から日曜まで月曜休館です。朝9時から夕方5時まで開いています。250平方m定員100人のホールと77平方m定員20人の会議室が借りれます。施設を使用する際は、新宮町福祉センター健康福祉課窓口へ申請してください。電話番号 092-710-8286

新宮 聞き語り 立花山災害

新宮町は、町制が施行された昭和二十九年以降、災害による犠牲者ゼロを誇っていますが、その直前の昭和二十六年に、立花山に降った豪雨によって、一人が犠牲に合っています。立花口地区の現場近くには慰霊の「災害復旧碑」が今も建っていて、その碑文から当時の様子がうかがえます。

「由未立花山は、老持繁茂し水源涵養、山容も美しくこの水源は集落に多大なる恩恵を与えてきた」という書き出しで碑文は始まります。ところが、戦時中に薪炭材や軍用材として伐採が相次ぎ、「水の手」一帯が山裾を露呈するに至りました。人の中には乱伐を戒める声もありましたが、昭和二十六年七月、台風による豪雨によって「出水甚だしく水の手山腹は、鼓波にわたり崩壊、山津



立花口にある災害復旧碑

波と合って集落を襲った。川は埋まり道は壊れ家屋に浸水し、一名の犠牲者を出すに至った」と伝えています。災害後の復旧工事は三ヶ月にわたって延べ千三百人、工費約二百三十万円を費やして、川の石張り・石垣の復旧をしたとい

町のアンテナSHOP

協力店の紹介

『福祉のアンテナSHOP』とは何ですか？

町内のお店が住民の皆様の居場所となっていることに注目し、お客様との会話の中で困りごとを発見したら、社会福祉協議会に繋いでいただくよう協力をお願いをしているお店です。

孤独・孤立を防ぐ地域の拠り所として、たくさんのアンテナを繋ぎ、相談窓口を周知し、困りごとの早期発見を目指しています。ご協力店募集中です。 問合せ：新宮町社会福祉協議会



オーナー 大山京子さん



ももソルベジェラート



デザートプレート付ランチ



店舗入口

グループ席有



野菜ソムリエのオーナーシェフが作るランチは、きのこソースのハンバーグや日替わりで魚や肉と季節の野菜をたっぷりの心のこもった料理です。

四季折々、庭の緑を眺めながらゆったりできる店内で手作りデザートも人気です。

4月からは念願のジェラートショップも併設され、季節の果物やミルク、野菜など素材を生かしたジェラートが並び老若男女に喜ばれています。

店舗名 Café Higorokka(カフェヒゴロッカ)
RICCAROCCA GELATO
(リッカロッカジェラート)

☎ 092-962-4657 / 090-1923-3841

営業 ランチ 11:30~14:00(L.O 13:30)

ジェラート 11:30~17:30

(テイクアウトのみ)

休日 火・水曜 ☑有り

住所 新宮町上府北2丁目11-18

特集 新宮町の防災は今・・・

出典：Activeアクティブ新宮(町広報誌)
～わが家の避難計画マイ・タイムライン～
令和5年7月No.637 3,4ページより

マイ・タイムライン作成のポイント

- ポイント1 ハザードマップを確認する
町が作成したハザードマップで、自宅や職場、学校などがどれくらい危険なのかを確認しましょう。また、避難経路に危険な場所がないか確認しましょう。
- ポイント2 情報収集手段を確認する
気象庁が発表する気象情報と町が発令する避難情報が、避難の準備や開始のタイミングを決めるめやすとなります。テレビやインターネット、SNSなどで防災情報を収集する手段を確認しましょう。
- ポイント3 避難行動を開始するめやすを決める
いつ避難行動を開始するかを決めましょう。避難のタイミングは、「家庭に高齢者や乳幼児がいる」「避難所が遠い」など、家庭の事情を踏まえて設定することが大切です。
- ポイント4 避難時の行動を家族で確認する
「いつ、誰が、何をするのか」を考えておき、家族のそれぞれがどういった行動パターンをとるのか想定しておきましょう。とるべき行動を箇条書きし時系列に並べて、行動に無理がないか、かかる時間を考えて、余裕を持って行動できるようにしておきましょう。

マイ・タイムライン(大雨・台風時)の例

家族構成	Aさん宅の場合 夫(85) 妻(83)	Bさん宅の場合 夫(27) 妻(26) 子(1)
世帯の状況	・2階建ての1軒家 ・川のそばで1メートルの浸水が予想される ・息子(59)が近くに住んでおり、日中は自宅で仕事をしている	・マンションの7階で浸水の可能性は少ない ・日中は家に妻と子2人きり ・夫は日中町外で仕事をしている
平常時	・非常持出品、備蓄品の準備をする ・ハザードマップで自宅の危険度を確認する ・家族の避難行動、避難先、避難経路を確認する	・非常持出品、備蓄品の準備をする ・ハザードマップで自宅の危険度を確認する ・家族の避難行動、避難先、避難経路を確認する
警戒レベル1 早期注意報	・家の周りを片付ける ・排水溝を掃除する ・テレビやラジオで情報を集める ・スマートフォンや携帯電話の充電 ・常備菜、お薬手帳の準備	・ベランダを片付ける ・テレビやスマートフォンで情報を集める ・ミルクやおむつ、離乳食などが十分にあるか確認する (足りなければ近所のお店に買いに行く)
警戒レベル2 大雨・洪水・ 高潮注意報	・外の状況を確認する ・避難の準備を始める ・息子と連絡を取り合う	・夫と連絡を取り合う ・カセットコンロを準備する ・お風呂に水を貯めておく ・スマートフォンやモバイルバッテリーを充電する
警戒レベル3 高齢者等 避難	・自主避難所が開設されたら息子と共に避難する ※できるだけ川の近くを通らない道を選んで車で避難する	・夫と連絡を取り合う ・停電時の準備をする(クーラーボックスの準備) ・室内から外の様子を確認する
警戒レベル4 避難指示	・避難先で安全に過ごす	・窓がない部屋など、極力雨風が当たらない部屋に移動する
警戒レベル5 緊急安全確保	★もし、避難できていない場合は、緊急的に安全を確保できる場所や建物の2階以上に移動	

↑ 危険な場所にいる場合は、ここまでには必ず避難!

※上の表は一例です。それぞれの家庭状況に合ったものを話し合ってみましょう。

増える自然災害、備えは大丈夫？ 新宮町の防災は今・・・

「立花山エリアにきちんとした避難場所を、早急に作ってほしい」。梅雨末期の大雨が続いた7月14日、立花口公民館で「災害から身を守る」と題した防災講話がありました。

町地域協働課の尾上勉防災専門官が防災のポイントを説明すると、参加した住民から冒頭の要望がありました。地球温暖化に伴う豪雨被害の多発など



講話をする尾上勉防災専門官

で、住民の間にも不安が広がっている様子が伝わってきました。

尾上専門官によると、土砂災害や地震・津波などの防災の基本となる新宮町ハザードマップは、2022年に改定され、町内に全戸配布されました。「洪水」「土砂災害」「津波」「高潮」の四つの災害別に、町内の危険区域や避難所などを色分けするなどして地図上に表示しています。

まずは自分が住んでいる区域の危険個所を知ることが第一歩となります。例えば、土砂災害は立花山を中心とした立花口、原上、的野などの山間部に赤色や黄色の土砂災害（特別）警戒区域が点在しています。海沿いの地域や相島では、津波や高潮などの浸水想定区域などが色分けして表示されています。

ハザードマップには、大雨や地震等の災害時の避難所も表示されています。緊急時の避難所としては「自主避難所」と「一時避難所」があります。自主避難所は災害が予想される場合に町からの呼びかけで自主的に避難する場所。町内では町福祉センターやそびあしんぐう、シーオーレ新宮、相島きずな館の4カ所です。さらに、状況に応じて



新宮町ハザードマップ



熱心に話を聞く立花口区の皆さん

しかし、昭和29年の町制施行以来、自然災害による人的被害はないとのこと。過去に台風などで「旧ことぶきや」周辺や現在の新宮北小付近で、道路の冠水や家屋浸水も一部あったが、大きな被害はありませんでした。

このことが逆に、防災意識の低さにつながっている。尾上専門官は話します。町では自治会ごとの自主防災組織の結成を呼びかけていますが、現在のところ結成できているのは24自治会の中の半数の12自治会にとどまっています。隣の古賀市では46ある自治会のすべてで自主防災組織が出来ています。糟屋郡内でも志免、粕屋、篠栗町は100%だそうで、マンションが急増している新宮町の低さが際立っています。

自主防災組織は日頃から防災知識を深めたり、緊急時の避難誘導も行うもので、住民の意識改革のためにも是非必要とされています。

最近では地球温暖化によって雨の降り方がこれまでと違ってきています。1時間に100ミリ以上の大雨が、40年前の2倍に増加したといわれます。

さらに、ここ1、2年は土砂災害警戒区域以外で災害が起こるケースが全国で36%にも達しているという新聞のデータもあります。こうした尋常ではない雨の降り方に、これから特に注意が肝要と、尾上専門官は警戒しています。

自然災害に対して、「自分は大丈夫」「そんなはずはない」と思い込んでしまふ、まさかの心の働きを「正常性バイア

他の施設を開放することもありません。

これまでに4年前の台風時に、新宮東中学校やふれあい交流館などに約460人が避難した例があります。

一時避難所は警戒レベルが高くなり、避難を行う場合に指定された避難所で、大半の公民館がこれにあたりません。これまでに行行政区の判断で公民館を開設したケースがあります。このほか、緊急時以降の長期避難所となる「指定避難所」があり、町内の幼稚園や小中学校を予定していますが、これまでに開設した例はありません。

ただ、立花口地区からは自主避難所へは距離も遠くて、行くのが難しいという事情があります。さらに、一時避難所になって立花口公民館や立花小学校などは土石流や土砂災害の警戒区域になっていて、事実上、避難場所にできないという問題があります。立花口住民から避難所について要望があったのはこんな事情からでした。

町では早めに避難することや避難ルート確保など、事前の準備の大切さを強調していますが、こうした課題は残されています。新宮町では昭和26年に立花山で土砂災害があり、1人が亡くなっています。

「ス」というそうです。尾上専門官は「人生には上り坂下り坂と、まさかの坂がある」と話し、特に最近の想定外の災害に対して、正常性バイアスからの脱却が大事だと強調します。

個人で出来る備えとして、水（1日3日）や保存食の備蓄とともに、緊急時にどう行動するかを事前に確認する「マイ・タイムライン」の作成を呼びかけています。

同時に、緊急時に避難の誘導や安否確認などを行うためにも、日頃からの地域のつながりが特に重要です。高齢者や子ども、障害者など自力で避難できない人を把握して、緊急時にすぐに行動を起こせるようにしておく。そのための「防災隣組」の結成も呼びかけています。（記者 馬郡）

